

各研修報告

施設長研修

期日 平成三十一年一月二十四日（木）
会場 清水アルサ

施設長としての役割を再認識し、資質向上を図ることを開催の趣旨とし、三三三名の参加で四つテーマで開催いたしました。

講義①は、「水防災～保育園・認定こども園で備えたいこと～」と題し、公益社団法人日本生体系協会教育センター長の田邊龍太氏にご講演を頂きました。

講義②は、静岡県保育連合会の後藤弘明会長による「保育情勢報告」。様々なデータを基に「保育人材の確保について」「三歳以上児の保育料無償化について」の説明をして頂きました。

講義③は、「カンボジアへの幼児教育支援から学び得たもの」と題し、社会福祉法人天竜厚生会子育てセンターミなみしま園長の伊藤孝氏となぎさ保育園保育士大霜光里氏にご報告頂きました。また、静岡県健康福祉部子ども未来課保育人材班長の山崎剛氏より「カンボジアにおける幼児教育・保育の質の改善事業について」静岡県の取り組みを説明して頂きました。

講義④は、「ヒトはどこから生まれるのか～最新進化学が解き明かす心の起源～」と題し、総合研究大学院大学学長の長谷川眞理子氏にご講演を頂きました。

新規採用職員研修会

期日 令和元年五月二十九・三十日（木・金）
会場 静岡県産業経済会館

一日目、一〇二名の参加で開講式に引き続き静岡県保育連合会・土山雅之会長が講義①「保育所・認定こども園等の使命と役割」というテーマで、保育を取り巻く環境についてや、社会に貢献出来る人に育って下さいと激励も頂きました。講義②静岡県保育士会・吉川慶子会長は、「保育者の使命と役割」というテーマで、倫理観をもって、心と身を整え反省を重ね真の保育者となつて下さい。と倉橋惣三先生の一文を交えお話し頂きました。講義

③は日本社会事業大学地域貢献センター客員教授・小沼肇氏が「新人保育者の責任とプライド」というテーマ、講義④はNPO法人浜松子どもメディアアリテラシー研究所代表長澤弘子氏が「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」というテーマでそれぞれお話を頂きました。

二日目の講義⑤は株式会社駿河こどものとも社代表取締役高林公一氏が「子どもと絵本」というテーマでお話し頂き、講義⑥はコーチングネットワーク静岡代表土方良子氏が「保育者としてのあり方・服務接遇」について少人数のワークを通して、保育者としての気づきや学びを深める講義でした。

二日間を通して内容の濃い講義ばかりでしたが、参加者は楽しく有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。

青年部総会・シンポジウム

期日 令和元年六月十四日（金）
会場 静岡県産業経済会館

役員改選後初の開催となつたシンポジウムは新役員を中心とした構成で行われました。コーディネーターのえじり保育園の井出孝太郎園長を中心とし、東部はセイユウモンテツ園の後藤恭佑園長、中部はセイユウモンテツソーリこども園の白井紀宏副園長、西部は桜木こどもの森の岡田博次園長をお招きし、「保育の環境を考えよう」のテーマのもと各園の実践事例を交えての話題提供となりました。三先生の一文を交えお話し頂きました。講義③は日本社会事業大学地域貢献センター客員教授・小沼肇氏が「新人保育者の責任とプライド」というテーマ、講義④はNPO法人浜松子どもメディアアリテラシー研究所代表長澤弘子氏が「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」というテーマでそれぞれお話を頂きました。

後藤先生からは、「自分で考えて行動して、責任を持つ」場面を作ることで達成感が得られ、次への意欲につながる。人的・物的・自然・社会・生活環境が大切であるというお話を頂きました。白井先生からは、モンテッソーリ教育の取組内容をお話し頂きました。

子どもには敏感期があり、環境の中から必要なことを吸収し、人格形成していく。園ではそれらを「おしごと」と名付け実践し、自信や満足感等に繋げているとの事でした。最後に岡田先生からは、保育内容と環境の見直しと題し、現在の魅力ある保育に至るまでの過程等をお話し頂きました。保育が変わる事への不安の払拭にかかる苦労や、園全体で実践する事、保育者も主体的に行動し成功体験を重ねる事が大切とのお話を頂きました。

昨年同様リアルタイムアンケートも活用し、大変充実したシンポジウムとなりました。